

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人 関西生活文化研究会おでかけ

I 事業期間

2022年4月1日～2023年3月31日

II 事業の成果

1 福祉有償運送事業

福祉有償運送では、新型コロナウイルス感染症の影響が依然続いていることに加え、ガソリン価格の高騰もあり、活動にとっては厳さが続く一年でした。

2022年度に予定していた2つの取り組みのうち、一つ目の「月会費制度の見直し」は、予定通り実施できました。しかしその影響で移送費の負担感が増したため、利用を控える方や他の福祉有償運送事業者等を検討される方もおられ、移送実績は減少しています。二つ目の「枚方市ふるさと寄付金の活用」は、らくらくおでかけ補助券1件、回数券1件を発送できました。今後も福祉有償運送が持続的に活動できるよう、収支の改善に取り組んでまいります。

また、2018年度から続けている「寄付月間」の取り組みでは、今年度は2023年度分の月会費を年払いで受け付ける旨のご提案と合わせて行ったため、ややわかりにくかったようですが、20000円の寄付を賜ることができました。福祉有償の体制を拡充するための資金として活用する予定です。

2023年度は、引き続き福祉移送サービスに係る固定費を、運賃のような変動する収入に頼らない方法で工面することを検討していきます。また、前年度から推し進めているICT化をさらに進めるため、RPA ツール「WinActor」を導入する予定です。これにより定常的に発生するデータの入力作業をPCに代替してもらうことで、職員の事務作業負担を軽減し、福祉有償運送にさらに注力できる見込みです。

なお、今年度も枚方市NPO活動応援基金補助事業の申請を行いました。今年度は当団体の収支の改善状況が不十分であることから、採択されませんでした。

その他、枚方市共同配車センターに協力して、高齢者・障がい者の移送事業をおこなっていました。

2 訪問介護事業

訪問介護では、毎月約180人程度の要介護者への支援を行いました。今期は月会費の負担が増えた影響で車両を使った外出支援の利用が減少しています。また、外出時に車椅子ごと階段を昇降する必要がある方の支援依頼が多く寄せられています。件数としては前年と同様で、利用実績は横ばいです。

今期予定していた取り組みのうち、定期的訪問サービスの増加は、増減しつつ予定通り進んでいます。しかし午後にまだ余力があるため、来期も同様に注力していきます。

また、枚方市内の訪問介護事業所として、2017年度から引き続き「第一圏域元気づくり地域づくり会議」のメンバーに職員を1名派遣し、2011年度から引き続き「枚方市訪問介護事業者会」の運営メンバーにも職員を1名派遣しています。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

- (1) (事業名) 福祉有償運送
(内 容) 高齢や障害によって移動に制約のある方の外出支援
(実施場所) 枚方市北部及びその周辺地域
(実施日時) 月～金の9時～18時
(祝祭日、12月30日～1月3日、8月13～15日を除く)
(事業の対象者) 枚方市内在住か、外出の目的地が枚方市内にある移動制約者
(収 入) 運賃等、会費、寄附金等
6,265,860円
(支 出) 車両費、リース料、燃料費、保険料、通信費等
8,537,333円
- (2) (事業名) 訪問介護事業
(内 容) 加齢や疾病等により要介護となった方への訪問介護サービス
(実施場所) 枚方市北部及びその周辺地域
(実施日時) 月～土の7時～22時
(事業の対象者) 事前に訪問介護サービスの利用契約を結んでいる要介護者
(収 入) 介護給付費、利用者負担、公費負担等
52,145,854円
(うち、介護給付費・公費が44,488,548円)
(支 出) 人件費、福利厚生費、地代家賃等
53,023,997円

Ⅳ 社員総会の開催状況

通常総会

- (日 時) 2023年6月16日(金) 19時00分から19時30分
(場 所) 法人事務所
(社員総数) 13名
(出席者数) 13名(うち委任状出席者7名)
(内 容) 第1号議案 2022年度 事業報告書等 について
第2号議案 2023年度 事業計画等 について
第3号議案 役員改選 について

上記の議案について説明し、審議の結果原案通り承認されました。